

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部国際教養学科

学年：3 年

留学先大学：York St John University

現在の学期：First Semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	13:30-14:30 International Politics and Economy lecture
火	
水	13:00-14:00 Democracy lecture
木	10:00-11:00 Researching Media Industries lecture 12:30-14:30 Researching Media Industries seminar 16:00-18:00 International Politics and Economy seminar
金	16:00-18:00 Democracy seminar
土・日	

履修科目や近況について

国際的な政治への関心が理由で、International Politics and Economy と Democracy を履修しています。また、千葉大学の授業ではメディア産業関連の授業が履修できないので Researching Media Industries も履修しました。

International Politics and Economy は 2 年生向けの授業です。レクチャーという講義型の授業で、古典派経済主義、マルクス主義、ケインズ主義などの概念を学びます。セミナーでは、core reading という読むべき論文が毎週提示（30 ページから 50 ページほど）されるので、それを読んだ上でセミナーというディスカッション形式の授業を受けます。セミナーではセミナークエスチョンという問いについて 3~4 人ほどの少人数グループで話し合い、その後全体で共有したり、ケーススタディとして授業内でニ

ニュース記事が配布されるのでそれを読み、学んだ概念との関連性について考えたりします。留学先大学は3年制なので、導入的な授業というよりは、1年生の時にある程度政治経済を学んだ学生のための授業という感じがします。私は千葉大で経済学について学んだわけでもなく、高校の社会科でも政経は履修していたわけでもなかったため、概念を理解するだけでもかなり苦労しています。評価方法は11月初旬とクリスマス前にエッセイを提出します。ハーバード式で提出など、英語エッセイならではの形式があります。

Democracy も2年生向けの授業なので、ある程度政治について学んだ学生向けという感じの授業です。レクチャーで選挙と民主主義の関係や、議会のあり方（一党制か複数政党制かなど）や、世界の民主主義指数などについて学んでいます。International Politics and Economy と同様、Core reading が提示されるので読んでからセミナーに参加します。セミナーでは主に3グループほどに分かれ、3つの問いの中からそれぞれ1つ選択し、ブレインストーミングのような形でディスカッションを行い、その後全体で共有します。日本にいと日本国内やアジアの情勢についてはニュースなどで触れることも多いのですが、イギリスの学生ほどヨーロッパ情勢のことがわからず、背景知識が欠けているので、授業で出てきた首相や事柄は調べながら学んでいる状況です。毎セミナーの最後には、今日の授業で何を学んだのかということを一人一言全体の前で話すことが求められます。評価方法は11月下旬と1月下旬にエッセイを提出します。

Researching Media Industries は1年生向けの授業です。レクチャーは100人以上収容できるシアターで行われ、セミナーは4クラスほどに分かれます。1年生向けの授業、かつ1学期ということで初めのレクチャーでは、図書館の使い方や、エッセイの書き方など授業内容というよりは、大学生として必要なことを学びました。留学生活の上で必要な知識を得られたので1年生向けの授業を一つ履修してよかったと思います。レクチャーでは、テレビの視聴時間の推移や、Netflix などサブスクリプションの台頭やその特徴について学んでいます。リーディング課題は、毎回ではなく今のところ2回に1回で、ない週は他のアンケートのような軽めの課題が出ます。セミナーでは、グループディスカッションをしたり、課題のアンケートの結果とレクチャーで学んだことや、ケーススタディとしてメディアの制作会社など調べたことを元に、グループプレゼンテーションを作ったりしています。この授業のセミナーは初回～第4週まで留学生が私ひとりしかない状況だったので、ネイティブの英語について行くのが大変でした。評価方法は11月下旬と1月下旬にエッセイを提出します。履修している授業の成績評価は全てエッセイで、語数は1200～2500語ほどあります。

生活面では、Japanese society という団体（日本のサークルのような位置付け）に入りました。York St John 大学には日本語学部があるので、この団体は、日本語を学んでい

る学生や日本に興味がある学生、既に日本に留学経験があるイギリスの学生と主に日本からきた留学生で構成されています。毎週水曜日に活動があり、日本のゲームをしたり、書道など日本らしい活動をしたりする一方で、ハロウィンパーティーなどもありました。

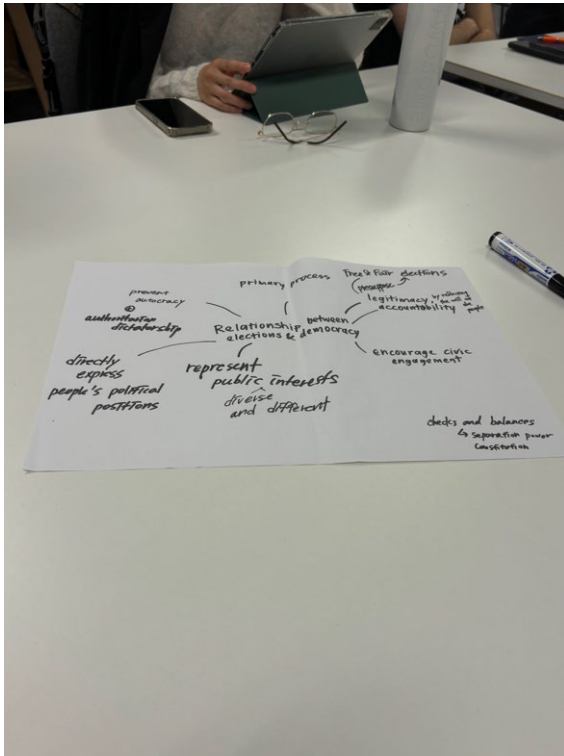
日本関連では、日本語学部の授業にボランティアとして参加しています。いつもは英語を話すことが求められる中で、日本語で話すというのは少し新鮮な感じがします。また、参加した授業で、以前千葉大学に留学に来ていた学生と出会いました。

寮生活は5人で共同生活ですが、1階と2階にバス・トイレが一つずつあるのでキッチンだけ5人で共有、バスルームは私ともう一人の留学生で共有しています。フラットメイトとはキッチンで会ったらたまに話すくらいで割と淡白な関係性だと思います。私のハウスは全員女子ですが、他のハウスは男女共同のところの方が多いという話を聞きました。土日に日本食パーティーと称して、同じ寮の他のハウスの友達とご飯を食べたり、誕生日会などをやったりしています。友達のほとんどが同じ寮に住んでいるので、安心感があります。コーヒーやお菓子を食べながら話すために集まることも多いです。また、寮の敷地に野良猫が住み着いていて、住人全体で愛でています。ふてぶてしい感じが愛おしいです。10月の初旬に一度だけオーロラがイギリスでも発生し、寮で見ました。私の寮は、他の寮より大学から離れているのですが、ヨーク自体がコンパクトな街であることもあり、大体20分ほど歩けば、スーパーやホームセンターなどがあるので生活は便利です。

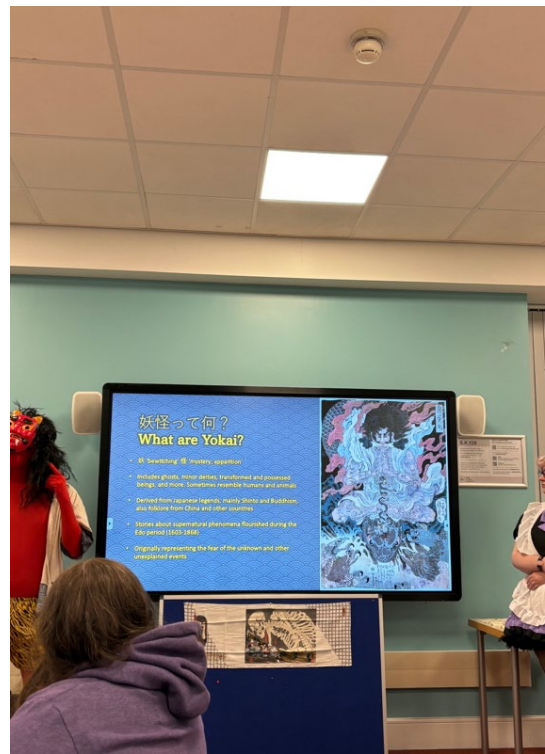
よく行く場所は、シティーセンターという街の中心地です。いろいろなお店があるので授業の前後によく街を散策しています。ヨークは本当に綺麗なところで、散歩するだけでも気分転換になります。ハロウィンやクリスマスがあるからなのか、街の中に突如として観覧車が出現したり、定期的にマーケットが開かれたりするので、小さな街ですが日々変化があって楽しいところです。よく歌っている人やバイオリン、チェロの演奏をしている人も見かけます。また、Japanese Societyで教えてもらったのですが、シティーセンターの中に、IPPUKU Teahouseという日本茶のteahouseがあり、そこで毎週月曜日の17:30からJapanese Societyのメンバーが集まって話したり折り紙をしたりしています。まだ1度しか参加していないのですが、また行きたいと考えています。学食の他に、大学の中にコーヒーなどを販売しているカフェのような場所があるのですが、そこのテイクアウトも週に1、2回利用しています。

旅行は、まだあまり行けていないのですが、学校の遠足のようなものでWhitbyという街に行きました。私が行ったときは見えなかったのですが、夏だとイルカが見えることで有名な場所らしいです。ヨークとはまた雰囲気違って、小高い丘にWhitby Abbeyという遺跡もあり、見応えのある港町でした。海が近く、フィッシュアンドチ

ップスも美味しかったです。11月にエディンバラ、ダラム、シェフィールド、ロンドンに行く予定です。



Democracy の授業の様子



Japanese Society の様子



寮の生活



オーロラ



寮のねこ



大学のカフェ



大学の中庭



シティーセンターの様子



街の様子



Whitby Abbey